

# アウトプット指標の考え方

**目的**：所期の効果・目標を達成するに十分な事業量であるか、事業全体のなかでバランスが取れているかという観点で、事業の実施量を評価する

**評価指標**：市区町村から国へ事業量を報告  
→そのデータを活用

**検討方法**：都道府県の間で比較→差の要因を考察  
同一都道府県内の市区町村の間で比較  
→同上  
事業量とアウトカムとの相関を分析

### Ⅲ. アウトプット評価（平成20年度の状況）

以下の項目の人数や金額について、記入してください。

1) 特定高齢者把握事業		
(1) 基本チェックリスト配布人数		人
(2) 基本チェックリスト実施者数		人
(3) 特定高齢者候補者数		人
(4) 特定高齢者決定者数		人
2) 通所型介護予防事業（参加実人数）		
(1) 運動器の機能向上プログラム（単独）＝①		人
(2) 栄養改善プログラム（単独）＝②		人
(3) 口腔機能の向上プログラム（単独）＝③		人
(4) ①と②を組み合わせた複合プログラム		人
(5) ①と③を組み合わせた複合プログラム		人
(6) ②と③を組み合わせた複合プログラム		人
(7) ①と②と③を組み合わせた複合プログラム		人
(8) その他のプログラム		人
(9) 通所型介護予防事業		人
3) 訪問型介護予防事業（被訪問実人数）		
(1) 運動器の機能向上プログラム		人
(2) 栄養改善プログラム（配食支援以外）		人
(3) 栄養改善プログラム（配食支援）		人
(4) 口腔機能の向上プログラム		人
(5) 閉じこもり予防・支援プログラム		人
(6) 認知症予防・支援プログラム		人
(7) うつ予防・支援プログラム		人
(8) その他のプログラム		人
(9) 訪問型介護予防事業		人



